

## 第1学年生活科学学習指導案

### 1 単元名 かぞくがにこにこ大きくせん！

### 2 指導観

#### こんな子どもだから

○ 1学期の「やよいしょうがっこうとなかよし」の学習では、学校の施設や設備の様子に関心を持ち、すすんで知ろうとしたり、職員や上級生など学校にいる人たちに興味をもってかかわろうとした。また、学級の係活動では、どの子も友だちと協力して、進んで仕事に取り組み楽しく生活することができるようになった。  
(関心・意欲・態度)

○ 「やよいしょうがっこうとなかよし」の学習では、学校探検をして、弥生小学校の自慢を絵や文に表すことができた。初めの発表会では、「こんなことを調べるといいよ。」とアドバイスをすることもできるようになってきた。最後の発表会では、表現物を使って、「給食室は、大きなお鍋が5つあって、みんなの給食を5人の先生で作っています。」というように、どこに何があるか、何に使うのかを発表することができた。また、たくさんの先生方や5・6年生にインタビューすることができた。

アサガオの観察では、アサガオの成長の様子を観察し、変わったところや思ったことを絵や文に表すことができた。  
(思考・表現)

○ くり返し学校探検を行うことで、学校での生活を支えてくれている多くの人たちがいることに気付くことができた。また、アサガオの観察では、毎朝水やりを頑張りと、双葉の間から本葉が出てきたことやつるがねじれながら支柱に巻き付いていくことに気付くことができた。  
(気付き)

#### こんな教材で

本単元は、学習指導要領の内容(2)を受けて、家族や家庭での生活に関心を持ち、家族と過ごす楽しさやよさに気付く中で、家族の一員として、家族のためにできることを考え、行動できるようにすることや家族の温かさや大切さが分かるとともに自分の生活をふり返り、規則正しく健康に生活しようとする態度を育てることをねらいとしている。

また、学習指導要領の内容(8)を受けて、自分ができるようになったことを友だちに伝えたり、困っている友だちにアドバイスをしたりすることや友だちの頑張りや自分の頑張りに気付いたりしていくことをねらいとしている。

この教材は、家庭生活に目を向けさせ、自分にできることを見付け、「この仕事は、家族をにこにこにするぞ。やってみよう。」と期待感を持ち、家族の人に「ありがとう。」と言ってもらって「うれしい。」と充実感を持ち、さらに「仕事がうまくできるようになった。」と達成感や自分の成長を味わうことができる活動であり、自分の思いや願いを実現していくものである。

この教材は、次の3つの点で価値があると考えられる。

- ① 家庭における自分の生活を見直し、家族に感謝の気持ちを持ち、家族のことや自分のこと、自分の生活をどのようにすればよいのかを考え、仲よく協力し合って生活することができる。
- ② 家族の自分に対する愛情を考えることから、家族の温かさや大切さが分かり、自分にできることをすすんで考え活動しようとし、自分なりに表現することができる。
- ③ 友だちや家族からアドバイスや賞賛を受けることで、達成感を味わったり、もっとできることがあるのではないかと考えたりすることができる。

### こんな方法で

#### 【であう段階】

子どもたちには、「おうちたんけん」をさせ、家族がにこにこになるために家庭で自分でできそうなことをいろいろ体験させ、単元を通じた学習のめあてをもたせる。

#### 学習のめあて

「かぞくがにこにこ大きくせん！」をしよう。

体験したことを発表させアドバイスをし合うことで、家庭で実践する仕事を決めさせる。

#### 【かかわる段階】

子どもの活動については、それぞれの家庭で行っているため、友だちがどんなことを頑張っているかが見えにくい。そこで、「途中お知らせ会」を行う。家庭での活動を絵や文に表して発表したり、写真や VTR、使う道具を用いて実演する等、発表の仕方を工夫させる。このことで、子どもたちは、誰がどんなことをしているのかが分かり、そのよさを伝えたり、「こんなふうにしたらもっとよくなるよ」というようなアドバイスをしたり、頑張っていることやよいところを賞賛したりすることができ、家族がにこにこになるための体験活動をさらに続けていく意欲へとつなげる。

#### 【いかす段階】

「かぞくがにこにこ大きくせん！」発表会を行う。

これまで子どもたちが行ってきた活動を発表する場を設定する。続けて頑張っていることやうまくできるようになったこと等を発表させ、聞いている子どもたちには、友だちの頑張りやすごいなと思うところを見つけさせ発表させる。そのことで、達成感を味わわせ、自信を持たせるようにする。

さらに、あらかじめ書いてもらっていた家族からの手紙を紹介する。家族からの感謝の言葉や、成長の喜びを実感させられるような内容のものを紹介する。家族からの手紙を受け取り、自分自身の活動をふり返り、家族をにこにこにできたことの達成感や自分に自信がもてたことなどを家族への返事の手紙に書かせる。

### こんな子どもへ

- 家族のことや家庭での楽しさやよさに目を向けようとする子ども
- 家庭生活に関心をもち、家族の一員として、自分でできることを意欲的にしようとする子ども

(関心・意欲・態度)

- 自分でできることや家族が喜ぶことを見つけたり、家庭で楽しく生活できるような工夫をしたりすることができる子ども
- 家族や家庭のこと、自分でできることなどについて、話したり聞いたりすることができる子ども
- 自分ができるようになったことを友だちに伝えることができる子ども
- 友だちの発表を聞いて、アドバイスをしたり、賞賛したりできる子ども

(思考・表現)

- 家庭生活を支えている家族のことや自分でできること等に気付くことができる子ども
- 家の仕事、家族の団らん等の家族のことや家庭において自分にもできることがあることに気付くことができる子ども
- 家庭生活のよさや自分でできることを進んで行うことの大切さに気付くことができる子ども

(気付き)

3 指導計画 (10時間)

段階	配時	学習活動と内容	支援
4	1	<p>1 おうちたんけんをして家族のことや自分の一日の生活について話し合い、これからの学習のめあてをもつ。</p> <p>① (1) 家庭での出来事や家の人を紹介を発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>おかあさんは りょうりがじょうず です。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おとうさんは しごとがやすみのとき あそんでくれます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かぞくのたんじ ょうかいをしま す。</p> </div> </div> <p>① (2) 家族と過ごす一日の生活をふり返り、家族とのかかわりを見つける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ばんごはんのじゅんぴを てつだうことがあります。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おとうさんと おふろにはいり ます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あさはおかあさん におこしてもらい ます。</p> </div> </div> <p>① (3) これからの学習のめあてをもち、「ぼく・わたしにできることは何か」を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習のめあて 「かぞくがにこにこ大きくせん！」をしよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>じぶんのことは、じぶ んでしたくてきゅう しょくのはしをあら いたいです。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おかあさんがよろ こんでくれるので おふるそうじをし たいです。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>〇〇さんもしてい るので、わたしもせ んたくものたたみをし たいです。</p> </div> </div> <p>① 家でやってみた仕事について話し合い、作戦を決める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>じぶんのはしをじぶ んであらうのはきも ちがいいし、おうち のひにも「えらい ね。」とほめられた のでおはしあら いは、つづけていき たいです。〇〇さん は、しよっきあら いもしていたので、わ たしもやってみ たいです。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おふるそうじはか ぞくみんなからきもち いいといってもら えるので、つづけて いきたいです。〇〇 さんに「ゆかをあら ったり、せんめん きをあらったりす るといよ。」とア ドバイスをもら ったので、や ってみたいです。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>せんたくものた たみをつけます。 すすんでするとよ ろこんでもらえ るとアドバイス してもらったから です。それにつ づけてするとじ ょうずになる とおしえて もらったから です。</p> </div> </div>	<p>○ おうち探検で家族の自慢等を見つけさせ、学習プリントに書かせておく。</p> <p>学習プリントが書けていない子どもへは、家庭での体験を想起させる言葉かけや対話を行いプリントを書かせる。</p> <p>○ 家庭の協力のもと、学習プリントに一日の生活をまとめさせておき、それをもとにして家族とのかかわりを見つけるようにさせる。</p> <p>○ 自分自身のことや家族の仕事など、家族がにこにこになるために自分にできることはどんなことかを考えさせる。</p> <p>○ 自分がしたことを学習プリントに書かせておく。学習プリントが書けていない子どもへは、家庭での体験を想起させる言葉かけや対話を行い、プリントを書かせる。</p> <p>○ 活動の場は、主に家庭なので保護者に協力してもらいながらすすめていき、子どものチャレンジに対してコメントをもらうようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>学習を見通す活動</b> 家庭で実践する仕事を決めることができるようにさせるために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際にした仕事について発表させる。</li> <li>○ 失敗やうまくいかなかった経験に対して友だちからアドバイスをもらう話し合いを行う。</li> </ul> </div>

か  
か  
わ  
る  
い  
か  
本  
時  
1  
組  
す

3 3 自分にできることにチャレンジする。

① (1) 「かぞくがにこにこ大きくせん！」 途中お知らせ会の準備をする。

① (2) 「かぞくがにこにこ大きくせん！」 途中お知らせ会をする。

おちゃわんのうらもあらうといいよとおしえてもらったので、つぎからやってみたいです。

〇〇さんのおふるそうじのしかたを、ぼくもやってみたいです。

やるじかんをきちんときめて、わすれないようにしていきます。

① (3) アドバイスを受けて、自分の仕事を見直す。  
○ できなかったことに再び挑戦したり、友だちのよいところを取り入れて継続したりする。

3 4 「かぞくがにこにこ大きくせん！」 発表会をする。

① (1) 「かぞくがにこにこ大きくせん！」 発表会の準備をする。

じょうずにできるようになったことを、はっぴょうします。

じぶんからすると「ありがとう」っていわれたことをはっぴょうしよう。

じぶんができることをしたら、じぶんもいきもちになることをはっぴょうします。

① (2) 「かぞくがにこにこ大きくせん！」 発表会をする。

おかあさんがよるこんでくれたのは、わたしがせいちょうしたからだわかりました。

ぼくはおふるそうじをつづけてきて、じょうずになってきたのがうれしいです。

これからもかぞくがもっとなかよくなるために、いっぱいはなしをします。

ほめられてよかったですね。

わたしも〇〇さんみたいにじぶんでできることをもっとふやしたいです。

いまがんばっていることを、ずっとつづけていけるといいですね。

「ありがとう」っていつてもらうとじぶんもにこにこになりますね。

① 5 家族に手紙を書き、学習をふり返る。

わたしは、毎日お風呂掃除をすることに決めましたが、やり方がよく分かりませんでした。途中お知らせ会で、〇〇さんが教えてくれたやり方でやってみるととてもきれいになりました。わたしは、お母さんに「ありがとう」と言われてとても嬉しくなりました。これからも自分でできることを見つけて頑張ります。

○ 家族がにこにこカードは、毎日提出とし、見取りと支援を行う。

○ お知らせする内容と方法を決めさせる。

準備ができない子へは、家庭での体験を想起させる言葉かけや対話を行う。

○ 友だちのお知らせに対してアドバイスをしたり、よいところを取り入れたりできるようにさせる。

○ アドバイスをもとに取り組みを続けさせる。

○ かぞくがにこにこカードは毎日提出とし、見取りと支援を行う。

○ 発表の準備ができない子には、発表したいことが引き出せるような言葉かけを行ったり、友だちの練習を見せて、参考にさせたりする。

○ 発表を聞いてよさを見付けさせたり、自分と似ているところを考えさせたりする。

○ 事前に家族に「かぞくがにこにこ大きくせん」の感想(手紙)を書いてもらっておく。

**交流・評価する活動**  
家族のためにもっと自分ができていることを考えたり、自分の成長に気付いたりすることができるようするために、

- 家族がにこにこになった活動を絵や写真で伝えたり道具を使って実演したりする活動を行う。
- できたことや家族からほめられたことを広める話し合いを行う。

○ 家族からの手紙を読ませ、自分の成長に気付かせたり、家族に大事にされていることや学習をしてうれしかったことやこれから頑張ること等の手紙を書かせ学習のまとめをさせる。

#### 4 本時（4／10） 学習を見通す活動 1年 組教室において

#### 5 本時目標

- 家庭での経験をもとにほめられたことや失敗したことなどを発表し合い、もっとできそうなことや続けてできそうなことを考え、家庭で実践する仕事を決めることができる。（思考・表現）

#### 6 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、前時までに考えた「自分にできること」を実際に試みて、ほめられたことや失敗したことをもとに発表し合い、このまま続けていくのか、もっとできそうなことを付け加えるのか、または、できることに変更をするのかを考えさせ、家庭で自信をもって活動ができるように見通しをもたせる。

##### 手だて(1)自分の思いや願いをふくらますための表現物づくりや表現活動（前時）

自分自身のことや家族の仕事の中から、「自分にできること」を各家庭で行う。活動の場が各家庭なので、子どもの活動が分かるように保護者に協力をしてもらう。家庭との連絡に「かぞくがにこにこカード」を使用し、頑張った活動、活動の感想、保護者の方から一言を書いてもらう。これをもとに、

- ①実際にやってみたこと
- ②やってみてどうだったか
- ③これからどうしたいか

を書かせる。自分の実践をふり返り「これからどうしたいか」の内容が「続ける・増やす」は緑の付せん紙、「迷っている」は黄色の付せん紙をつけさせ、自分の考えを整理させるとともに、グループでの話し合いの時に、視覚的にも分かりやすくさせておく。

##### 手だて(2)自分の思いや願いをふくらますための話し合い活動

はじめは同じ仕事をした2，3人の小グループの中で

- ①実際にやってみたこと
- ②やってみてどうだったか
- ③これからどうしたいか

を発表させる。聞いている子どもたちには、頑張っていることに自信と喜びを持たせるために、頑張っているところには、ピンクの付せん紙、仕事を進める際に困っていることを解決させるために、「こうしたらいいよ」とアドバイスをする水色の付せん紙を貼らせる。次に頑張った仕事を発表させることで、家の中にはいろいろな仕事があることにも目を向けさせる。発表の内容を仕事とその仕事のいいところに分けて板書し、家庭で実践する仕事を決める手がかりにさせたい。

最後に自分が決めた仕事と、なぜその仕事にしたのか理由も発表することで、子どもが仕事に対する思いを大切にし、進んで仕事に取り組む意欲をもつことができるようにする。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援
<p>1 前時学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて</p> <p>「かぞくがにこにこ大きくせん！」の、さくせんをけていしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてを確認することで活動の見通しをもたせる。</li> </ul>
<p>2 かぞくがにこにこ大作戦を実際にやってみて、思ったことをグループの中で発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>①わたしはきゅうしよくのはしをあらいました。②おかあさんにほめられてうれしかったです。③ほかにもじぶんができることをやりたいです。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>①ぼくはおふろそうじをしました。②きもちよくおふろにはいれたよといってもらってやるきができました。③これからもつづけようとおもいます。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>①わたしはせんたくものをたたみました。②きれいにたたむことができなかったのでごんねんです。③つづけるか、ほかのものにするかまよっています。</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表の約束を確認して、話し合いを行うようにする。</li> <li>○ 自分の仕事と比べながら、友だちの発表を見たり聞いたりできるように自分のカードに目を通させる。</li> <li>○ アドバイスできない子には自分がやったときにうまくできた方法はないか声かけをする。</li> </ul>
<p>3 各グループの仕事のいいところを発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>じぶんのはしをじぶんであらうのは、きもちがいいです。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>おふろそうじは、かぞくみんなからきもちいいといってもらえます。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>せんたくものたたみは、おかあさんがよるこんでくれます。</p>  </div> </div>	
<p>4 本時学習のまとめをし、家庭で実践する仕事を決める。</p> <div style="margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 10px;"> <p>ぼくは、せんたくものたたみをつづけます。なぜかという、すすんでしたらよるこんでもらえるとおしえてもらったからです。それに、つづけたらじょうずになるということもおしえてもらったからです。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までの活動をふり返って考えたり、友だちの考えを参考にしたりするよう助言する。</li> <li>○ 決まらない子は家の人と相談して決めるよう、声かけをする。</li> </ul>

#### 4 本時（9／10） 交流・評価する活動 1年 組教室において

#### 5 本時目標

- 「かぞくがにこにこ大きくせん！」の発表会をして、家族のためにもっと自分ができることを考えたり、自分の成長に気付いたりすることができる。（気付き）

#### 6 本時指導の考え方

本時の指導にあたっては、これまでに取り組んできた活動をふり返り、できなかったことができるようになった自分の成長に気付いたり、自分が行ってきたことが家族を喜ばせ役に立っていることに気付いたりすることを確かめるために発表会を行う。発表者は、前時に作った表現物を見せたり、具体物を使ったり、動作化したりして家庭で行っている活動を友だちに分かりやすく知らせる。聞き手は、発表を聞きその頑張りを認め合ったり、よかったところをほめ合ったりしてお互いに交流し合う。

#### 手だて(1)自分の考えを友だちに伝える表現物づくりや表現活動

発表者は、自分が続けてきた仕事を分かりやすく具体的に友だちに伝えるために、道具を使って実演させたり、拡大した写真を提示させたり、VTRをスクリーンに映させたり、前時に作った表現物を用いて動作を入れさせたりしながら発表させる。

発表者には、初めは、うまくいかなかった活動がだんだん上手になってきたことや途中お知らせ会でアドバイスをもらってできるようになったことなど、自分自身の変化が分かるように発表をさせる。また、家族の反応も含めて発表させるようさせる。

#### 手だて(2)互いの成長を認め合う話し合い活動

友だちの発表を聞き、自分の活動と似ているところや違いを見つけて発表をつないだり、「毎日続けてできたのがすごいね。」とか「ほめてもらってよかったね。」など、よかったこととそのわけを伝えたり、お互いを認め合う交流を行い、相互評価ができるようにする。

発表の内容を「がんばったこと」「かぞくのことば」に分け、構造的に板書することで、自分たちの成長に気付いたり、家族への感謝の気持ちをもてたりできるような話し合いを展開する。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援
<p>1 本時のめあてについて話し合う。</p> <div data-bbox="172 315 948 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「かぞくがにこにこ大きくせん！」はっぴょうかいをしよう。</p> </div> <p>2 「かぞくがにこにこ大きくせん」発表会を行う。</p> <div data-bbox="164 495 948 636" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>わたしは、いままできゅうしょくのおはしをおかあさんにあらってもらっていました。でもいまはがっこうからかえったらすぐにじぶんであらうようになりました。おかあさんからすごいねとほめてもらっています。</p> </div> <div data-bbox="164 651 948 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>じぶんがつかうものをじぶんであらったんですね。かえったらすぐにしたところがすごいですね。</p>  </div> <div data-bbox="164 808 948 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ぼくは、おふろそうじをがんばりました。はじめはそうじのしかたが分からなかったけど、おかあさんにおしえてもらってじょうずにできるようになりました。かぞくがよろこんでくれています。</p> </div> <div data-bbox="188 987 948 1128" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おうちのひとにおしえてもらってじょうずにできるようになってよかったですね。</p>  </div> <div data-bbox="164 1144 948 1285" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>せんたくものたたみをしてスカートやくつしたはうまくたためるようになったけど、ポロシャツやブラウスは、まだ、うまくたためません。どうしたら、うまくたためますか。</p> </div> <div data-bbox="164 1301 948 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たいらなところでたたむといいです。たたみかたをみせます。</p>  </div> <div data-bbox="164 1458 948 1599" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ぼくは、ちいさいおとうとにほんをよんであげています。ぼくが、ほんをよんでいるとおとうとはとてもうれしそうなかおをしています。ぼくもうれしくなります。おかあさんにほんよみがじょうずになったねといわれたのでうれしかったです。</p> </div> <div data-bbox="164 1615 948 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かぞくみんながにこにこになれてよかったですね。ほんよみもうまくなってすごいですね。</p>  </div> <p>3 本時学習のまとめをする。</p> <div data-bbox="164 1771 948 2063" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>「かぞくがにこにこ大きくせん！」をして、わたしは、じぶんにできることをかんがえてチャレンジしてみました。はじめはむずしかったこともやりかたをおしえてもらってじょうずにできるようになりました。ともだちにすごいねっていつてもらえてうれしかったです。おかあさんからありがとうっていつてもらいました。わたしは、がんばってよかったなあとおもいました。これからもつづけてがんばります。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までには発表するための表現物を準備しておき、本時の学習に臨むようにする。</li> <li>○ 発表の約束を確認して、発表会を行うようにする。</li> <li>○ 発表者と同じ（似た）体験をもつ子どもが、発表をして考えをつないでいけるように、発表者を前もって決めておき、意図的な指名をしていく。</li> <li>○ 聞き手は、自分の仕事と比べながら発表を聞き、頑張りを認め合い、感想を伝えるようにする。 感想は、一つの仕事の発表が終わったら、その仕事についてすぐに言わせる。</li> <li>○ まだ、家族をにこにこにできていない子どもを指名し、アドバイスをもらうようにする。</li> <li>○ 自己の成長の喜びや家族とともに過ごす喜びを実感したことが分かるようにまとめをさせる。</li> <li>○ 自分の思いを十分に書き表せない子には、聞き取りをして書いてあげる。</li> </ul>